

《担当者名》全指導教員

【概要】

[実験・実習]

専門分野にかかわる特定の研究課題を設定して、各研究分野の特論及びセミナーで修得した知識・技能を活かして研究を実践し、その成果を修士論文としてまとめる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	課題研究	生物有機化学領域の主に次の研究課題を中心に研究指導を行う。 ・生物活性天然物の全合成研究 ・生物活性天然物の作用機序の解明 ・新規合成手法の開発	小林 健一
	課題研究	有機合成化学領域の主に次の研究課題を中心に研究指導を行う。 ・インドール誘導体の新規合成法の開発 ・インドール誘導体の新規活性物質の探索研究 ・新規生理活性物質の合成研究	西 剛秀
	課題研究	有機化学領域の主に次の研究課題を中心に研究指導を行う。 ・インドールエポキシド等価体を用いた新規反応性の開拓研究 ・求核試薬を用いたインドール誘導体の合成と生理活性化合物の開発研究 ・インドールアルカロイドの合成研究	山田 康司
	課題研究	生薬学領域の主に次の研究課題を中心に研究指導を行う。 ・薬用植物の植物生理学的研究 ・高品質生薬生産を目的とした二次代謝化合物生合成研究 ・天然物からの医薬品・機能性食品としての新規活性物質の探索研究	高上馬 希重
	課題研究	放射薬品化学領域の次の研究課題を中心に研究指導を行う。 ・核医学診断薬剤及び内用放射線治療薬剤の開発研究 ・内用放射線療法の副作用軽減化に関する研究	北浦 廣剛
	課題研究	薬品物理化学領域の主に次の研究課題を中心に研究指導を行う。 ・トロンピン阻害剤の開発に関する研究 ・抗癌剤を指向したDNAインターカレーター探索 ・チオNAD酵素サイクリング反応の高効率化に関する研究	吉村 昭毅
	課題研究	薬品分析化学領域の主に次の研究課題を中心に研究指導を行う。 ・異常胆汁酸のLC-MS法による分析法の開発と胆汁酸生合成異常症における動態解析に関する研究 ・胆汁酸生合成中間体の分析と生合成機構に関する研究 ・胆汁酸トランスポーターの活性測定法の開発と機能	村井 毅

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		解析に関する研究	
	課題研究	<p>衛生化学領域の主に次の研究課題を中心に研究指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養素の役割と疾病との関連性に関する研究</li> <li>・食品機能と食品衛生に関する研究</li> <li>・疾病の発症と予防（リスクファクター）における生体内因子との関連性に関する研究</li> </ul>	浜上 尚也
	課題研究	<p>環境衛生学領域の主に次の研究課題を中心に研究指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境化学物質による核内受容体を介した生体影響評価に関する研究</li> <li>・環境化学物質による制御性T細胞応答に関する研究</li> <li>・遺伝子導入細胞株を用いたヒト血液での核内受容体活性検出法の開発</li> </ul>	小島 弘幸
	課題研究	<p>衛生化学領域の主に次の研究課題を中心に研究指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養素の体内動態に関する研究</li> <li>・生体内物質の代謝に関する研究</li> <li>・化学物質の毒性に関する研究</li> </ul>	小林 大祐
	課題研究	<p>生化学領域の主に次の研究課題を中心に研究指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・UGT1A遺伝子プロモーター領域の機能解析と遺伝子多型に関する研究</li> <li>・イサチン関連物質の病態マーカーとしての応用に関する研究</li> <li>・ナイロン膜固定型DNAを用いた遺伝子多型解析法の開発</li> </ul>	青木 隆
	課題研究	<p>免疫微生物学領域の主に次の研究課題を中心に研究指導と行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デルタレトロウイルスによる白血病発症機構に関する研究</li> <li>・インフルエンザ及び牛白血病ウイルスの分子疫学</li> <li>・植物由来抗ウイルス活性物質の探索</li> </ul>	岡崎 克則
	課題研究	<p>薬理学領域の主に次の研究課題を中心に研究指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・免疫チェックポイント分子の発現調整機構に関する研究</li> <li>・アドレナリン受容体を介した免疫制御機構に関する研究</li> <li>・神経系と免疫系との連携による炎症制御と組織修復に関する研究</li> </ul>	柳川 芳毅
	課題研究	<p>病態生理学領域の主に次の研究課題を中心に研究指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動負荷モデル培養細胞を用いた骨格筋の内分泌機能についての研究</li> <li>・骨格筋の機能異常と心循環器系の疾患との関連についての研究</li> <li>・高血圧モデル動物における脳、心血管並びに骨格筋の病態についての研究</li> </ul>	飯塚 健治
	課題研究	<p>臨床薬理毒理学領域の主に次の研究課題を中心に研究指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不安と脳内セロトニン神経系に関する研究</li> </ul>	泉 剛

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・うつ病における視床下部-下垂体-副腎皮質系に関する研究</li> <li>・自殺関連遺伝子にかんする研究</li> </ul>	
	課題研究	<p>病態生理学領域の主に次の研究課題を中心に研究指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消化管のセロトニン動態に関する病態生理学的研究</li> <li>・圧力負荷装置を用いた擬似環境下における細胞内変化に関する研究</li> <li>・培養細胞を用いた生理活性物質の薬理作用に関する研究</li> </ul>	町田 拓自
	課題研究	<p>薬剤学領域の主に次の研究課題を中心に研究指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬物の体内移行における薬物輸送担体の機能解析に関する研究</li> <li>・急性腎臓病や慢性腎臓病における薬物輸送担体の機能解析に関する研究</li> </ul>	小田 雅子
	課題研究	<p>薬剤学領域の主に次の研究課題を中心に研究指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者コンプライアンス改善を目的としたゲル化製剤の開発</li> <li>・簡易懸濁法施行時の薬物溶解性と体内動態の関連性</li> <li>・臨床における薬物血中濃度モニタリング（TDM）の実践</li> </ul>	小林 道也
	課題研究	<p>薬剤学領域の主に次の研究課題を中心に研究指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・母体 胎児間の栄養輸送におけるmTORシグナルの役割に関する研究</li> <li>・妊娠の進行に伴う胎盤の組織変化と生体必須物質の輸送機構に関する研究</li> <li>・分子標的治療薬による副作用発症機構の解明とバイオマーカーの探索に関する研究</li> </ul>	平野 剛
	課題研究	<p>薬剤学領域の主に次の研究課題を中心に研究指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・抗がん薬耐性に及ぼすマイクロRNAの機能に関する研究</li> <li>・遺伝子編集を応用した細胞の分子生物学的機能に関する研究</li> <li>・機能性食品に関する臨床薬剤学的研究</li> <li>・製剤の溶出性に関する研究</li> </ul>	柴山 良彦
	課題研究	<p>実務薬学領域の主に次の研究課題を中心に研究指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医薬品の有効性、副作用などの臨床的調査研究</li> <li>・薬物動態における健康食品やサプリメントの影響</li> <li>・環境汚染物質の体内動態に関する研究</li> <li>・医薬品の安全管理と適正使用に関する研究</li> <li>・お薬手帳を用いた患者情報および医薬品情報の活用に関する研究</li> <li>・入院患者の薬物治療への薬剤師による薬学的介入とその評価</li> </ul>	遠藤 泰

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による